

有効期間満了日 令和 11 年 3 月 31 日

熊警第 350 号

令和 7 年 3 月 25 日

熊本県警察臨時の任用職員の任用等の取扱いについて（通達）

熊本県警察臨時の任用職員の任用等の取扱いについては、「熊本県警察臨時の任用職員の任用等の取扱いについて（通達）」（令和 4 年 10 月 7 日付け熊警第 966 号）に基づき運用しているところであるが、臨時の任用職員の給料の取扱いを見直し、別添のとおり「熊本県警察臨時の任用職員任用等取扱要領」を一部改正し、令和 7 年 4 月 1 日から運用することとしたので、事務処理上誤りのないようにされたい。

なお、前記通達は廃止する。

別添

熊本県警察臨時の任用職員任用等取扱要領

第1 目的

この要領は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第22条の3第1項に基づき、常時勤務を要する職に欠員を生じた場合において任用する臨時の任用職員（「熊本県警察職員の産前休暇、産後休暇、私傷病休暇、育児休業及び配偶者同行休業に伴う代替臨時の任用職員の取扱いについて（通達）」（令和7年3月25日付け熊警第349号）に基づき任用する者を除く。以下「臨時の任用職員」という。）の任用及び勤務条件等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

第2 任用期間等

- 1 臨時の任用職員の任用期間は、6月を超えない期間とする。
- 2 臨時の任用職員の任用期間は、1回に限り6月を超えない期間で更新することができる。

第3 任用方法等

- 1 臨時の任用職員は、免許、資格を要する職に任用する場合を除き、別に定める試験の合格者の中から任用する。
- 2 免許、資格を要する職に任用する場合の任用方法については、別に定める。
- 3 臨時の任用職員を任用する場合の任用手続は、警察本部警務課において行う。
- 4 臨時の任用職員を任用する場合は、任用する者に対し、人事異動通知書（別記様式）その他の方法により通知するものとする。

第4 勤務時間等

臨時の任用職員の勤務時間、週休日及び休日（以下「勤務時間等」という。）は、熊本県職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成7年熊本県条例第13号。以下「勤務時間条例」という。）に定める常勤職員の例による。

第5 休暇

- 1 臨時の任用職員の休暇は、年次有給休暇、病気休暇、特別休暇、介護休暇及び介護時間とする。
- 2 年次有給休暇は、一の年ごとにおける休暇とし、次の表の左欄に掲げる在任期間に応じて同表の右欄に掲げる日数を付与する。

在 任 期 間	日 数
1月に達するまでの期間	2 日
1月を超えて2月に達するまでの期間	3 日
2月を超えて3月に達するまでの期間	5 日
3月を超えて4月に達するまでの期間	7 日
4月を超えて5月に達するまでの期間	8 日
5月を超えて6月に達するまでの期間	10 日
6月を超えて7月に達するまでの期間	12 日
7月を超えて8月に達するまでの期間	13 日
8月を超えて9月に達するまでの期間	15 日
9月を超えて10月に達するまでの期間	17 日
10月を超えて11月に達するまでの期間	18 日
11月を超えて1年に達するまでの期間	20 日

- 3 年次有給休暇は、20日を限度として当該年の翌年に繰り越すことができる。
- 4 病気休暇は、勤務時間条例第13条に定める場合における有給休暇とし、同条に定める期間を付与する。
- 5 特別休暇は、熊本県職員の勤務時間、休暇等に関する規則（平成7年熊本県人事委員会規則第2号）第13条に定める場合における有給休暇とし、同条に定める期間を付与する。
- 6 介護休暇は、勤務時間条例第15条に定める場合における無給休暇とし、同条に定める期間を付与する。
- 7 介護時間は、勤務時間条例第15条の2に定める場合における無給休暇とし、同条に定める期間を付与する。

第6 給与及び旅費

- 1 臨時の任用職員の給与（退職手当を除く。）及び旅費は、熊本県職員の期末手当及び勤勉手当に関する規則（昭和38年熊本県人事委員会規則第24号）中、臨時の任用職員に関する規定その他別に定めるものを除き、熊本県一般職の職員等の給与に関する条例（昭和26年熊本県条例第2号）の適用を受ける職員（臨時の任用職員を除く。）の例による。
- 2 経験年数を有する者の初任給として受けるべき号給は、熊本県職員の任

用に関する規則（昭和46年人事委員会規則第10号）第26条第6号の規定により採用した職員に適用する号給の決定方法の例による。

3 令和7年3月31日以前に採用された臨時的任用職員に対して令和7年4月1日以後に適用する号給については、当該臨時的任用職員が採用された際の号給の決定における学歴免許等の資格及び経験年数に基づき2の規定を適用した場合の号給とする。

4 臨時的任用職員については、昇格及び昇給は行わない。

5 臨時的任用職員は、熊本県職員等退職手当支給条例（昭和28年熊本県条例第56号）第2条第1項に規定する職員等とし、同条例の例により退職手当を支給する。

第7 社会保険

臨時的任用職員の社会保険の適用については、地方公務員等共済組合法（昭和37年法律第152号）及び厚生年金保険法（昭和29年法律第115号）の定めるところによる。

第8 公務災害等補償等

臨時的任用職員の公務上の災害又は通勤による災害に対する補償については、地方公務員災害補償法（昭和42年法律第121号）の定めるところによる。

第9 健康診断

臨時的任用職員の健康診断については、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）の定めるところによる。

第10 その他

この要領に定めるもののほか、臨時的任用職員の任用等に必要な事項は、別に定める。

※ 別記様式（略）